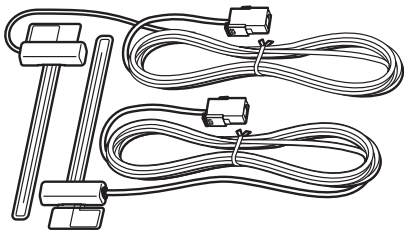
Uniden

取付説明書

地上デジタル用
フィルムアンテナ

DTM20FA



本書はユニデン車載用地上デジタルチューナー専用アンテナの
配線・取り付けについての説明書です。

このたびはユニデン地上デジタル放送受信用アンテナを
お買い上げいただきありがとうございます。

■製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。
安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。

■この取付説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。
http://www.uniden.jp/

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

この取付説明書では、危害や物的損害を未然に防止するため、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号		行為を指示する記号
一般的注意	禁　止	分解禁止	一般的指示

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

取り付けや配線は専門業者にご依頼ください

・取り付けや配線は、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

運転に支障をきたす場所や、視界の妨げとなる場所には取り付けないでください

・運転操作の妨げとなる場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）や、前方・後方の視界を妨げる場所への取り付けは、交通事故やけがの原因となります。

はり付基準範囲内に取り付けてください

・国土交通省の定める保安基準に適合する位置（はり付基準範囲内）に貼り付けないと、道路交通法違反となります。

はり付基準範囲については、本書の「貼り付け位置について」をご覧ください。

説明書にしたがって正しく配線を行ってください

・誤った配線をすると発火や事故の原因となります。特にリード線はねじや可動部分に挟み込まれないよう整形し、固定してください。

エアバッグシステムの動作を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください

・エアバッグシステムの機能に支障をきたす場所や、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは交通事故やけがの原因になります。

落下したりはずれたりしないよう、確実に取り付けてください

・取り付けや接着が弱いと、走行中にはずれる、落下するなど事故やけがの原因となることがあります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正しく動作することを確認してください

・車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線には触れないでください

・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注 意

必ず本機に付属されている部品、または指定の部品を使用してください

・指定以外の部品を使用すると、機器の損傷や、取り付けの不具合などによる落下事故・故障などの原因となることがあります。

コードをはさみ込んだり、傷つけないでください

・ショート事故や断線により、発火や故障の原因となることがあります。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないよう処理してください

・ステアリング・ブレーキペダルなどの運転操作に支障がないよう配線し、固定するなどの処理をしてください。事故やけがの原因になります。

仕様

受信チャンネル	UHF （13ch～62ch）
出力インピーダンス	75Ω
エレメント全長	約90mm
電源	DC8V（接続しているデジタルチューナーよりケーブルにて給電）
消費電流	45mA × 2
アンプ利得	10dB以上（470MHz）
周波数範囲	470MHz～770MHz
ケーブル長さ	約5m
質量	1本　約90g （コネクター、ケーブル含む）
貼付場所	フロントまたは、リアウィンドウ

仕様および外観は、性能向上その他の理由で予告なく変更する場合があります。

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

●配線の取り付け・取り外しは専門の技術者にご依頼ください。
●運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

<ユニデンダイレクト>お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**　●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

<ユニデンダイレクト>ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**

DTM20FA　取付説明書

発　行　日：2007年10月　第1版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
http://www.uniden.co.jp/

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。
あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Corporation

UGZZ21304BZ(0)

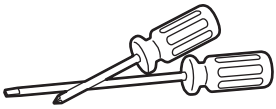
使用上のお願い

- このアンテナは、ユニデン車載用地上デジタルチューナー専用です。
- このアンテナはフロントやリアウィンドウへ貼り付けて使用します。
  それ以外の場所には、取り付けないでください。
- エアバッグをピラーに装着している車両には取り付けることができません。
- 熱線反射ガラスや電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種、あるいはミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買い上げになった販売店に確認してください。
- 車種により、取り付けや配線のために車両の一部（ピラーカバー・ルーフライニングなど）を一時的に取りはずす場合があります。
- アンテナエレメントを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。
  断線などにより受信性能が悪化する場合があります。
- 次のような場合には、受信状態が悪くなったり、正常に映らないことがあります。
  - ・放送局から離れたところを走行している場合
  - ・トンネル内や鉄橋を走行している場合
  - ・地下や高架下等を走行または停車している場合
  - ・送電線の下や近くを走行している場合
  - ・上空を飛行機が通過したり、近くを電車が通過している場合
  - ・ビルとビルの間を走行または停車している場合
  - ・ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行している場合
  - ・自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している場合
  - ・車両の電動機器（※）動作中には、受信状態が悪化したり、ノイズが発生することがあります。

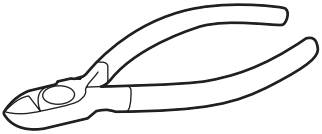
    ※ 電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機など
- お手入れについて
  - ・アンテナが汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
    アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
  - ・お車の清掃の際にウィンドウガラスをふくなどするときは、アンテナ取付部を強くこすらないでください。

使用工具類

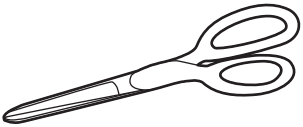
取り付け、接続の際に必要となる以下の工具類を適宜ご用意ください。



ドライバー



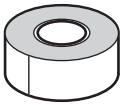
ニッパー



はさみ

プライヤー

柔らかい布



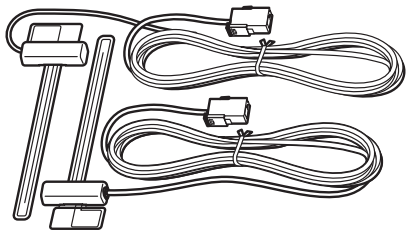
ビニールテープ

ガラスクリーナー

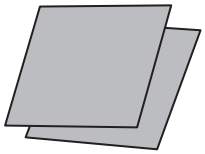
構成部品一覧

取り付け、接続の前に下記のものがすべて揃っているかご確認ください。
（　　）は個数です。
万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

アンテナ（2 本）



アースシート（2 枚）



クリーナー（2 個）

取付用テープ（1 枚）

※この取付説明書のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

取付上のご注意

- 取付作業の際は、ショート事故防止のために車の電源をOFFにした状態で、バッテリーマイナス側のケーブルをはずしてください。取り付け、配線の作業が終わったあと、取りはずした車両の部品を元通りに取り付け、最後にバッテリーのマイナス側のケーブルを元通りにつないでください。
- 必ずフロントまたはリアウィンドウの指定の位置・寸法内に正しく貼り付けてください。（次ページ「貼り付ける位置について」参照）
- アンテナを貼り付ける前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。アンテナを貼り直したりすると粘着力が弱くなるため、十分な取付強度が得られません。
- ウィンドウ内側の汚れ（ごみ、ほこり、油など）や、水分などをクリーナーできれいにふき取り、ガラス面が乾いてから貼り付けてください。
- 気温が低いときはガラス面が結露したり、貼り付かなくなります。
  車内ヒーターで暖めるなどしてから貼り付けてください。
- エレメントやはくり紙などをはがした面には手を触れないでください。
  手の汚れ、静電気などによる故障や接触不良の原因になります。
- アンテナを接続する機器の説明書も併せてお読みください。

ご参考

- 増設アンテナ取付位置について
  リアウィンドウは熱線が入っていたり熱反射ガラスが使用されているため、良好な感度が得られない場合があります。
  アンテナ増設時はフロントウィンドウへの取り付けをお勧めします。

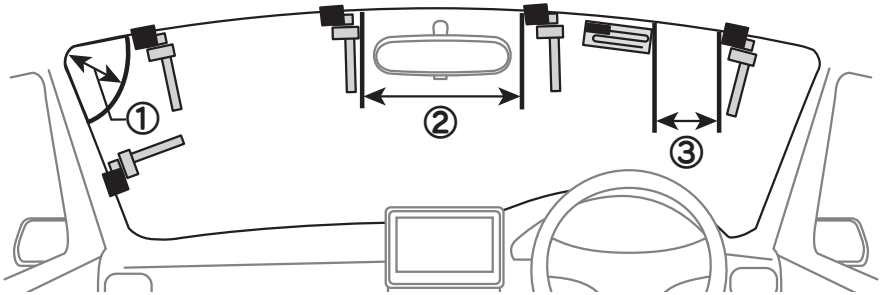
取付上のご注意（つづき）

貼り付ける位置について

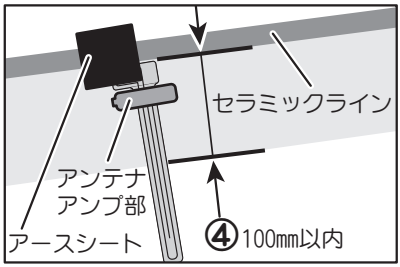
運転に安全な視野を確保し、受信性能を十分に発揮させるため、アンテナ部は必ず下図の貼り付け基準範囲内に貼り付けてください。

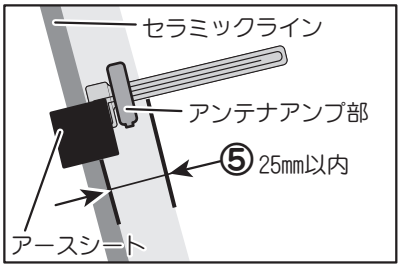
■ 貼り付け基準範囲

①角より50㎜以上離す。 ②左右のアンテナを100㎜以上離す。 ③他のアンテナより50㎜以上離す。



アンテナアンプ部の位置はウィンドウ枠セラミックライン下端から100㎜以内（④）に、また横の位置では端より25㎜以内（⑤）で、アースシートが車体の金属部に届く位置に取り付けてください。





ご注意

- 点検シールなどに重ねないでください。
  本書の指示通りに作業をされない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

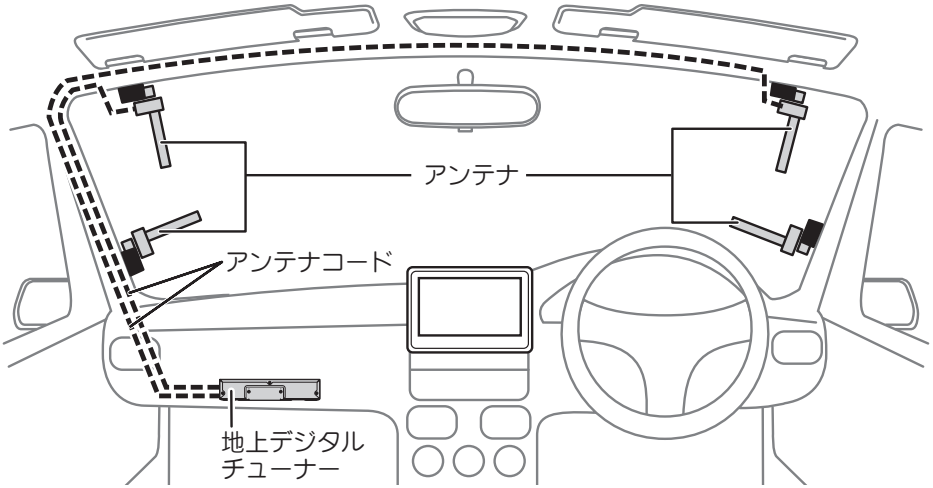
取付・接続例

⚠警 告

運転に支障をきたす運転席ハンドル下および足元には配線を絶対に通さないようにしてください

・アクセルペダルやブレーキペダルにからまるおそれがあり、非常に危険です。

下記取付例は一例です。



取り付けかた

1 内装部品を取りはずします

必要に応じ、ピラーカバーやルーフライニングなどを取りはずしてください。

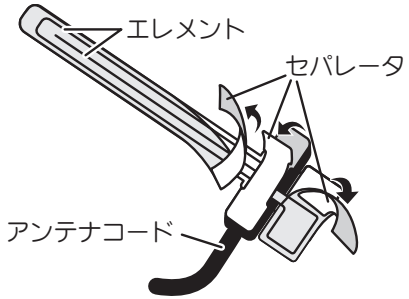
2 アンテナの貼り付け位置を確認します

前述の「貼り付け基準範囲」を参照し、アンテナが取り付け可能か確認してください。

3 アンテナを取り付けるガラス面に付着している、油膜やホコリなどの汚れを拭き取ります

付属品のクリーナー等を使い、貼り付けるガラス面を拭いてください。

4 アンテナのセパレータをはがします



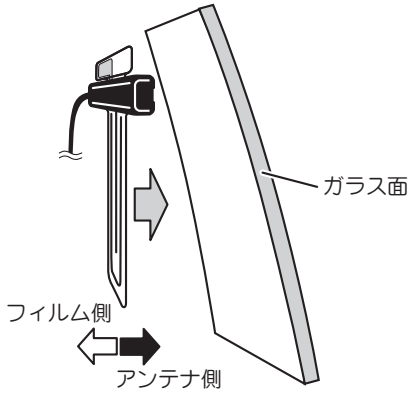
ご注意

- アンテナエレメントを折り曲げたり、キズを付けたりしないようご注意ください。
- エレメントやセパレータをはがした面には手を触れないでください。手の汚れ、静電気などによる故障や接触不良の原因になります。

取り付けかた（つづき）

5 アンテナ側がガラス面になるように貼り付けます

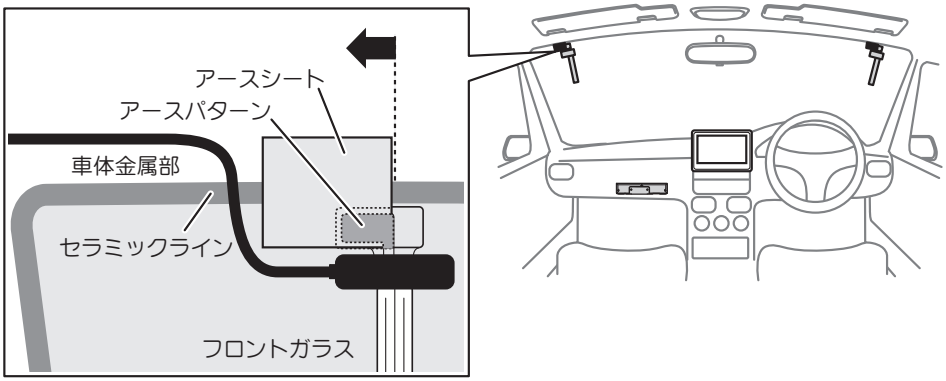
●アンテナを貼り付けた後は、位置の変更や移動はできませんのでご注意ください。
アンテナを貼り直したりすると粘着力が弱くなるため、十分な取付強度が得られません。



6 アースシートを貼り付けます

アースパターン上に貼ってある青い保護シートをはがした後、図のようにフィルムのアースパターンと車体金属部へアースシートを貼り付けます。

※フイルムのアースパターン方向（⬅）に沿ってアースシートを貼り付けてください。



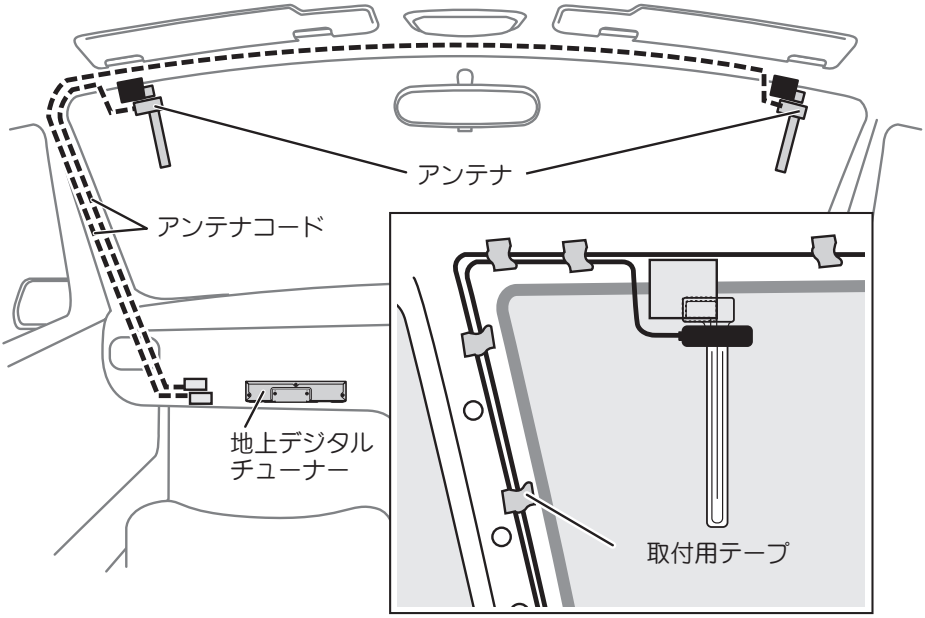
内張り（ピラーカバーなど）の内側の車体の金属部とアンテナのアースパターン部とをアースシートにて押さえて接触させてください。

取り付けかた（つづき）

7 アンテナコードを地上デジタルチューナー付近まで配線します

配線は金属部分に付属の取付用テープでしっかりと固定してください。
（取付用テープは適当な大きさにカットしてお使いください。）

●コードは無理に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
また内装部品取り付けの際は、コードのはさみ込みにご注意ください。
ショート・性能劣化の原因となります。



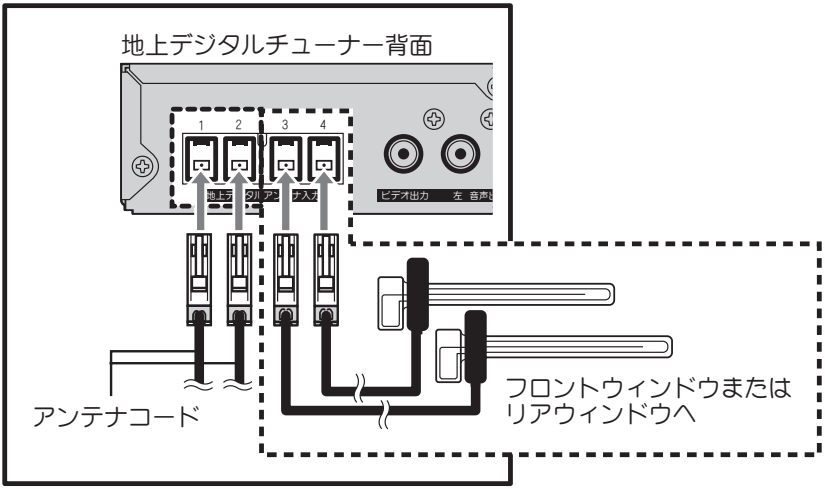
取り付けかた（つづき）

8 アンテナコード２本を地上デジタルチューナーに接続します

コネクターはどちらに差し込んでも、問題ありません。
アンテナのプラグはカチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

アンテナが正常に電波を受信しているか、チューナーの電源を入れて
映像を確認します。

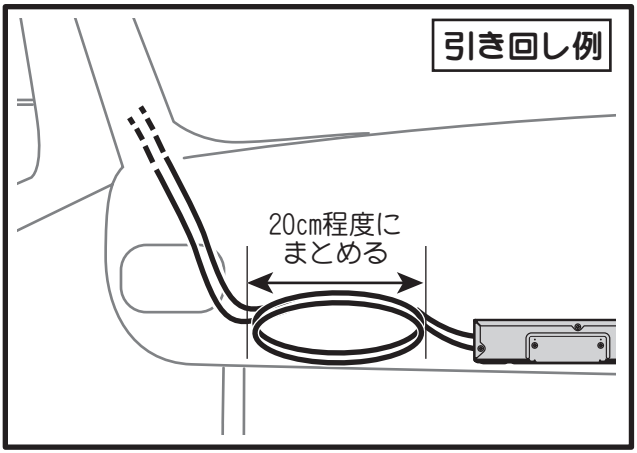
異常のある場合は取り付け手順に従って、再度確認してください。
また、アンテナプラグを抜き取る際には、ロックを押して抜いてください。



取り付けかた（つづき）

9 コード類を引き回し処理します

コード類は運転の妨げにならないよう、助手席グローブボックス裏等で20cm程度の円を描くようにまるめ、引き回し処理してください。



10 内装部品を取り付けます

ピラーカバーなどの内装部品を取りはずした場合は、元通りに取り付けます。